



第1回地震等緊急時対応特別調査委員会（8月10日）

はじめに、正・副委員長の互選を行い、委員長に尾崎日本水道協会理事長を、副委員長に小泉首都大学東京都市環境学部特任教授、清塚横浜市水道局浄水部長、野津山広島市水道局次長を選任した。

次に、本委員会設置の主旨説明を行った後、「小委員会の設置」が上程され、「応援体制検討小委員会」、「訓練実施方法等検討小委員会」の設置が承認された。

また、報告事項として、「想定されている地震及びその被害状況」、「東日本大震災における水道被害と応援状況等」、「今後のスケジュール」について、事務局から報告を行った。

漏水防止講座（東京会場第3回：8月19日～21日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々57名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。

初日及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用しての実地研修を行った。

配管設計講習会（九州会場第1回：8月19日～21日、中国四国会場：8月26日～28日、 東北会場：9月9日～11日）

水道事業体及び設計業者の方々163名（九州会場第1回56名、中国四国会場57名、東北会場50名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道事業管理職事務研修会（東京会場：8月20日～21日、 大阪会場：8月27日～28日）

水道事業体に従事する事務系管理職及び管理職を補佐する方々140名（東京会場75名、大阪会場65名）の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「水道事業における危機管理－水質及び管路事故対応を中心に－」、「水道事業の会計制度と財政のポイント－決算書の見方とそのポイント－」、「公営企業の経営戦略の策定と活用」、「経営戦略プランの策定と料金改定～松江市水道事業の事例を踏まえて～」について研修を実施した。

第100回水道 GLP 認定委員会（8月26日）

水道 GLP 認定について、(株)東洋環境分析センター（認定番号：JWWA-GLP122）、滋賀県企業庁（認定番号：JWWA-GLP123）が新規に審議され決定された。また、認定維持検査機関として柏崎市ガス水道局（認定番号：JWWA-GLP051）、釧路市上下水道部（認定番号：JWWA-GLP052）が、それぞれ審議され決定された。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



8月24日

(株)エオネックス

(認定番号：JWWA-GLP121)

平成27年度第4回理事会（9月3日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項「公益社団法人日本水道協会の会務」について、事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「日本水道協会第87回総会の議案の追加」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



平成27年度第2回運営会議（9月3日）

副会長である浅利豊中市長が議長となり、報告事項1「平成28年度水道関係予算の概算要求」について、厚生労働省、総務省から説明があったのち、報告事項2「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項3「平成27年度水道イノベーション賞」、報告事項4「平成27年度全国会議（さいたま市）シンポジウム」、報告事項5「平成27年度全国会議における国際イベントの概要」、報告事項6「平成27年度日本水道協会スポット広報」、報告事項7「平成26年度水道賠償責任保険等の実績」、報告事項8「水道整備促進全国決起集会」、報告事項9「日本水道協会検査事業80周年に伴う各種行事の実施」について、事務局から説明があった。



続いて、第1号議案「平成28年度水道関係予算の要望」、第2号議案「日本水道協会第87回総会会員提出問題」、第3号議案「平成28年度全国会議の開催地」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、衆議院議員会館、参議院議員会館、財務省に対し陳情を行った。

未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：9月3日～4日）

水道事業体及び賛助会員のうち、主に料金徴収業務に携わる方々82名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について、実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

第696回抄録委員会（9月9日）

はじめに、副委員長長の互選を行い、細谷東京都水道局建設部建設改良工事連絡調整担当課長が選任された。

続いて、本誌12月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。